

## 課題の整理(中間まとめ)

平成24年5月17日第4回検討委員会現在  
与謝野町庁舎統合検討委員会

## ●総合庁舎方式への移行について

課題	主な意見	方針(中間まとめ)
防災体制について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合庁舎にすることが防災体制の強化になるとは思えない。</li> <li>○ 消防団員が少ない中、火事の際に団員である職員がすぐに現場に向かうことができなくなり、防災の面からだけ言えば分庁舎方式がベターである。</li> <li>○ 加悦庁舎を総合庁舎とする場合、岩滝、野田川地域の防災体制が大きな課題となる。</li> <li>○ 災害時に庁舎が一つであれば統一した命令系統がとれるのではないか。</li> <li>○ 防災面だけで言えば、3庁舎に分かれて運用している現在の方式がよいと考える。</li> <li>○ 庁舎は一つの庁舎が壊れても残った庁舎で対応できるなど分散している方がベスト。更に言えば中心地に一つあるのが望ましい。</li> <li>○ 情報が集めやすい、人が集まりやすいということも考えて検討すべき。</li> </ul>	
庁舎統合による効果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1,200万円の削減効果とあるが、他の効果額も含め可能な限り数字として示してもらいたい。</li> <li>○ 庁舎問題をコストの削減だけではなく、庁舎機能、政策能力向上といった面からも考えてほしい。</li> </ul>	
庁舎統合の改修費について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 加悦庁舎に統合されたら3億8500万円いるということだが必要ない。</li> </ul>	
合併特例債の発行期限について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発行期限が5年間延長されるようであり、庁舎問題も年数をかけて検討すればよいのではないか。</li> <li>○ 合併特例債が延長されても交付税の一本算定年度は替わらないのか。</li> <li>○ 発行期限が平成27年度とあるが、どの時点で発行ができなくなるのか。</li> </ul>	

●支所機能について

課題	主な意見	方針(中間まとめ)
窓口対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ サービスが低下すると言われるが、窓口以外でここに行きたいという方がどのくらいあるのか。窓口業務は各地域に配置されていると聞いている。</li> <li>○ 障害者の声は、福祉課や保健課が加悦にあるので不便だと思っていたら、加悦に行ったことはなく地域振興課で用務を済ませてもらっているの、このような機能やサービスが継続されるのなら本庁がどこにいてもよいのではないか。</li> <li>○ 2庁舎にとりあえず2人置いたらよいというものではない。岩滝に本庁を置けと言っているのではなく、サービスが低下しないようにしてほしいということである。</li> </ul>	
地域振興課について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在、18名が地域振興課の仕事をしていて、統合すると11名の職員が他課に配置できるということか。</li> <li>○ 統合しても窓口さえ置いてもらって今までのように対応してもらえるのであればそれでよい。</li> <li>○ 地域振興課が担っている業務をどうするかが大きな判断基準である。</li> <li>○ 障害者の意見としては、第1次窓口は近いところがよいが、門前払いということではサービスの低下になるので、諸証明の発行と公金収納業務だけではだめだと思う。</li> <li>○ 財政的な面で削減効果にあがっているが、地域振興課のメリットも議論してほしい。</li> </ul>	
庁舎の活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支所となる庁舎をどのように利用するかということを視野において検討してほしい。</li> </ul>	

●行政サービスについて

課題	主な意見	方針(中間まとめ)
住民サービスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンケート調査で、サービスが向上したと感じる人のほうが多いのを見ると、現状の分庁舎方式がよいと考えられるのではないか。</li> <li>○ 町の案は職員の利便性だけで、町民は現状に不満を感じてはいないと思う。庁舎が加悦に行けば不便を被る人が増えると考えられる。</li> <li>○ 加悦に庁舎が行った場合、野田川、岩滝の高齢者などどのような足の確保が考えられるのか。</li> <li>○ どうしても本庁に行かなければならない場合は地域間のバスを出してもらうなど、その手段を考えてもらえればよい。</li> <li>○ 当町のひまわりバスの現状では、朝行って夜帰ってくるしかない。</li> <li>○ ひまわりバスを走らせるより、公共交通を使いやすく支援する方がよいと思う。</li> <li>○ 町の責任だけではなく、住んでいる方の責任についても考えなければならない。ほしいばかりでは駄目である。</li> </ul>	